

謹賀新年

新年を迎え皆様のご健康と
ご多幸を心よりお祈り申し上げます
今年もよろしくお祈りいたします
平成二十九年元旦

平成29年の新春を迎え、日本靴小売商連盟・一般社団法人東靴協会の会長として謹んでお慶びを申し上げます。

北朝鮮の水爆実験表明を受け、株価が急落するという波乱のスタートとなった2016年でした。中国の景気減速、夏の参院選、そして、本年4月に予定されていた消費税率10%への引き上げが通常の景気循環を超えて『危機』に陥る大きなリスクに直面しているとのこと、2019年10月まで

2年半先送りになりました。デフレ脱却を目指す日銀に市場が期待する「黒田バズーカ」と呼ばれる追加金融緩和は不発、さらには安倍政権が新たに掲げた名目GDP（国内総生産）600兆円の達成へ向け、企業業績の二層の拡大と所得水準の引き上げも課題となった年でしたが、根拠が希薄で前進なし状態。さらに中国の景気減速に伴い、インバウンド需要も下期に入ってから、しばらくでゆきました。こんな足踏

み状態の中、公共料金や社会保険料の値上げ、実質賃金は上らず、消費税や相続税の増税を控え、天候不順も重なり、購買意欲を削がれていった昨年でした。

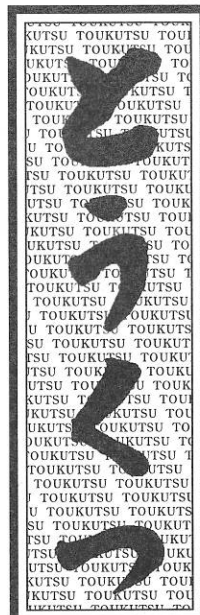
業界では婦人靴の苦戦が顕著になり、大型婦人靴店や百貨店が苦境にたち、専門店や高級品を供給する百貨店、専門問屋まで破綻するところが出ました。そしていま尚、混乱は続いています。特に勝組ジャンルであった、婦人ケミカルシューズまで不振に陥り、スニーカーもピークを過ぎ、店頭は苦戦続きでした。特に、婦人靴の不振が顕著でした。

そんな中、世界的な大きな

年頭所感

平成29年

日本靴小売商連盟
一般社団法人東靴協会
会長 小堤幸雄



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(1月号)

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡を願います

『ま・マサカー』がおこりました。誰もが想像しなかったイギリスのEU離脱とアメリカ大統領候補に泡沫候補と言われたトランプ氏が当選したことです。まさか！巷間で絶対になんと言われなかった事が起こってしまい我が国に於いても議論を重ねてきていたEUとのFTAやTPP交渉の先行きが不透明な状況に陥ってしまっています。また、2020年のオリンピック・パラリンピックを控えて観光客の誘致に努力しなければなりません。すぐに大きな期待はできないようです。

一方で、「いいもの、本物、日本製」が飛躍的に脚光を浴びていますが、マスの売上にはまだまだ結びつかないようです。牽引役不在の世界経済の動きが不安要素の中、日本では内需拡大が望みの綱です。

欧米に金融危機後の調整圧力が残ることに加え、輸出主導で成長してきた中国の次なる成長戦略が成功するのかに期待するところです。

これからは豊かな暮らし方を求める時代に移行します。

少子高齢化のさらなる進展も踏まえ、「健康で豊かな生活は足元から！」という考えから、一般社団法人東靴協会・日本靴小売商連盟では工場見学や教育研修セミナーを実施し、会員店舗スタッフのスキルアップに努めてまいりたいと思います。

さらに消費者講座や消費者懇談会などを通じて少しでも会員一般消費者のお役に立つよう今年も皆様のなご層のご協力をお願いするところであります。

良い靴を多様な消費者に紹介するにはしっかりとした商品知識とフィッティング技術をもった接客・応対が絶対に必要です。

一般社団法人東靴協会及び日本靴小売商連盟としては、今年も靴販売店、靴売り場に限らず、靴を販売する全ての売り場に必ずシューフィッター資格者がいるような環境創りを目指して、シューフィッター養成に努めて行きたいと念じております。

本年も宜しくお願いいたします。

2016年
ヒット商品番付

横綱(レディース・メンズ)

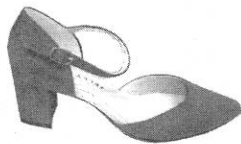
ランニング系スニーカー



今回のスニーカー人気を牽引していたのは、ベーシックなレトロスニーカー。その勢いが落ち着き、ハイテクソールにベーシック、シンブルアップを使用したハイブリッドなランニング系スニーカーが、ファッショナイトムとして支持された。特に色がポイントで黒&白、白単色など、モノトーン系が男女ともに売れ筋となった。

大関(レディース)

カジュアルパンプス



高寸・ピンヒールのフェミニンパンプスは苦戦。その中でチャunkyヒールを中心とした、カジュアル

アル感のあるパンプスの人気が高まっている。

ポインテッドトゥにチャunkyヒールのパンプスは、モードないメージもあり、支持された。季節に関係なく、セパレートタイプが実売化。素材、色でシーズン性を表現することで、端境期の人気も高かった。

大関(レディース・メンズ)

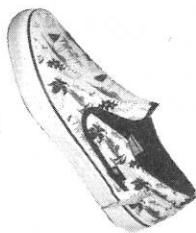
コート系スニーカー



ここ数年、実売に貢献しているコート系スニーカー。スニーカーという範ちゅうを越え、大人世代のカジュアルシューズとして、完全に定着した感がある。春夏には白に人気が集。秋冬カラーも実売につながっている。また、スエードタイプも登場。色の重要度が増している。

関脇(レディース・メンズ)

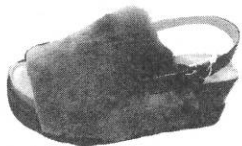
キャンバススニーカー



レディースでは春の主役に躍り出るキャンバススニーカーだが、メンズは例年、レディースほどの人気とはならなかったが、メンズでもキャンバススニーカーが実売化した。特にスリッポンの人気が高く、キャンバスオックスフオードなどのレースアップタイプよりも、動きが良かった売り場も多い。柄物、赤などの色物も好調だった。

関脇(レディース)

ファーサンダル



アパレル、セレクトショップなどでは、すでにヒットしていたファーサンダルが、専門店でも実売化。立地、客層などにより動きに差はあったが、新しいアイテムとして注目された。

特にセール期に初秋アイテムとして販売できることはうれしい限り。一枚甲に、毛足の長いファーを乗せたサンダルが主流。ティーンズだけでなく、ミセス世代にも支持された。

小結(レディース)

低寸サンダル



サンダルの主流はハイウエッジタイプだったが、それほどの勢いはなかった。それに代わり、いっもなら盛夏にしか動かないフラットから低寸タイプのサンダルが、初夏から人気となり、盛夏まで好調を持続した。楽ちん歩きやすいことと、装飾やシルエットできれいを表現したことで、盛夏のベタサンダルとは異なり、機能的なファッショナイトムへと昇華した。

前頭(レディース)

ソフトカジュアル



エフォートレススタイルが一般化したことで、ファッションにも楽しんさを取り入れることが、普通になった。ソフト感、リラクセス感が求められるようになっていく。一枚革のソフトカジュアルがヒット

し、秋冬にも継続している。ゴム使いのサンダルも支持された。どちらもボリウム感を排除し、すつきりときれいに仕上げていくことがポイント。

前頭二(レディース・メンズ)

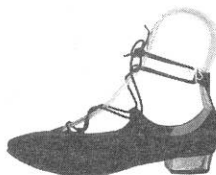
アウトドアサンダル



一昨年、トレンドとして注目されたアウトドアサンダルが、実売となった。「キーン」「デバ」などの定番アイテムが主流だが、アパレル、セレクトショップの扱いも増え、レディース人気が高まった。特に白黒のモノトーンの取り入れが増えたことで、アウトドア系でもモードなイメージとなったことが人気の要因。ソックスとのコーディネートも広がった。

前頭三(レディース)

ギリパンプス



(三面に続く)

「コロナとカラダの解放」 (ライフスタイルの カジュアル化)を考へる

この50年間に日本の社会は、成長から成熟への流れを経験した。その間2回のカジュアル化、すなわち「解放」があったと考えられる。

1965年頃から1990年頃までの1回目は、先進国の産業革命以来200年に及んだモノの豊かさの解放がピークに達した「成長」の最後の段階だった。

そして1990年頃から2015年頃までは、1回目のカジュアル化が尾を引きながらも、モノはそんなにいらぬ。自分の生活を自分流な消費で、ユトリある生活がしたいという「成熟」への移行の時代だった。

個の生活の解放、ライフスタイルのカジュアル化なのだ。競技の為のスポーツシューズを街で履くようになりスニーカーの大きな市場を消費者が作り出した。

ラクチンで快適な生活を求める時代の、大きな変化が始まった。変化する「ゆとりある生活」

1991年にバブルが崩壊し経済は混乱した。1997年に北海道拓殖銀行が倒産し、平成不況と呼ばれた。

国の事業に国債を投資し、経済の立て直しを図り、1991年から10年間で国債の残高は5倍に増えた。国民一人ひとり、個人としてゆとりのある生活を望んでいても、国家として企業としては、国際的にも国内市場でも、競争に打ち勝ち成長しなければならず、新たな市場や投資先、より低いコストの生産地を求めて、グローバル化は企業にとつて存続を賭けた課題となる。

グローバル化が進む国際環境のもと、輸出が好転し、企業の業績が回復した。ところが所得は上昇どころか減少が続いた。契約社員は増え、格差拡大が問われた。

市場経済の成長は飽和点に達し、競争がいつそう厳しさを増す中、企業は株価を高め、その価値を維持しなければ存続できなかつた。

東芝や三菱自動車などグローバル企業の不祥事は、企業が利益を出し続けるために、追い詰められた結果なのだ。

内閣府の調査「生活の力点」でも「ゆとりある生活」を求める中身が「安定した生活」「精神的に不安のない生活」という微妙な変化が見られ、自身のカジュアルな考え方は、格差から生

じる弱い人々への無関心や、ときに差別や虐待を助長する風潮さえ生みかねない。

アメリカの大統領選では、民主党も共和党もTPPというグローバル化に反対し、自分の生活が主、世界よりも自国という内向きの流れは、カジュアル化と共通しているようだ。

臨界点に達したかに見える市場経済のもと、コロナとカラダの解放というライフスタイルのカジュアル化の可能性を、さらに考えてみたい。

(FWより)

業界への影響が大きかった シンエイの大型倒産

昨年大手靴卸のシンエイが63億円という負債を抱え民事再生法の適用を申請し、大きな衝撃が走った。シンエイを主要取引先としていた新興製靴も連鎖し、民事再生法の適用を申請した。シンエイの2016年1月期の売り上げは、ピーク時の約三分の一の101億円に落ち込んでいた。

シンエイがこのような状況に陥つた原因は、パンプスをはじめとする婦人靴の不振や百貨店

の集客力の低下、ブランドが同質化してしまったことなど、数多くある。倒産の影響はおおきく、1000万円以上の一般債権者30社のほとんどが浅草や神戸の婦人靴メーカーと材料卸だった。すでに連鎖倒産も発生しており、今後は不透明だ。

シンエイと新興製靴の事業を譲りうけたのは、免税大手で中国資本のラオックスだった。シンエイの婦人靴企画・卸販売事業を子会社のモードエシヤコモを通して取得した。

ラオックスは「ジャパンプレミアムの強化推進を図っており、中でもMDのプレミアム」としてメイドインジャパンの商品構成の拡充を狙っている。

モードエシヤコモの子会社もこの目的のためであり、シンエイと新興製靴の取得も延長線上にある。

こういった業界外の資本の導入は今後とも起こると考えられる。新しい資本と経営陣のもとで、どのように再生していくのかが注目されるが、それは決して楽な道ではないだろう。先のラオックスも、中国観光客の「爆買い」の失速から売り上げ目標を下方修正したとも伝えられている。

(FWより)

(二面より続く)

春のスポッパヒットとなったのは、ギリパンプス(レースアップパンプス)。タンがなく、ヒモ環にヒモを通した、カッター形状のアイテムが主流。最初に登場した時は、足首にひもを結びつけるデザインが多かったが、ひもをゴムにする、バックファスナーをつけることなどとして、履きやすさを考慮したことで、マスゾーンにまで広がった。

前頭四(レディス・メンズ)

Dr.マーチン



苦戦を続けるレディス・メンズの中で、孤軍奮闘していたのが「Dr.マーチン」。メンズではここ数年、ローカットタイプの3アイレットが実売につながっていた。レディスでも、秋にワークブーツが注目されていることで、8ホールが人気となっている。ブーツではあるが、夏にも履けることで支持率は高い。低価格のコピー商品ではなく、本物が求められている。

理事会・支部連絡会

だより

平成二十八年十月二十四日(木)
午後二時、西村記念ホール

参加者20名

小堤会長の「54年ぶりの11月の降雪。息が白くなるような寒さ、この冬は厳冬になるのでしょうか。」

米国の大統領選では、トランプ氏が当選しTPPは離脱すると言っております。またEUとのFTAの動きも気になる場所です。我々小売りにとって直接の影響はないように感じますが、景気が影響を受けるため注視してゆく必要があります。

心配されているシンエイ関連ですが、それほどの影響は出ていないという声も聞いています。我々靴小売業は在庫が多く、いかに売り上げとのバランスをとるかが重要です。経済景気のうねりを捉えて行くことが必要です。」と挨拶。

松戸副会長の司会で議事を始めた。

一、靴まつりお買い物券の

扱いについて

田中省理事より、当選者に

お買い物券が届いています。有効期限は29年1月末日、回収したお買い物券は翌2月の理事会までに換金願います。と、要請し了承された。

二、シューフィッター養成講座
東京開催に關しての件

佐宗専務より表記の講座に現在ダイアナさんからの1名の申し込みがあります。希望者は是非お申し込み下さい。

三、親和会総会について

松戸副会長より、2月16日・17日に行なう今季の総会は箱根湯本「河鹿荘」で行いたい旨提案があった。田中早映子事務局員からこの3年間の協会からの親和会総会への補助金の額についての報告があり、10万、18万、25万と年々増大していることを念頭に「判断願いたい」と述べた。

総務委員会としては、内容を精査縮小したが、事務局より、理事会の承認を得るよう言われているので、ここで皆様にお諮りしたいと思っています。

松戸副会長の私案ではあるが、来期からは無尽の返還方法を変え補助金を使わないようにしたいとの案もあるので今回はよろしく承認願いたいと述べた。一同に諮り承認された。

四、教育研修委員会から報告

栗原(昭)副会長より、例年2月に行っている工場見学は、数年前に伺った、都立皮革技術センターと豚皮のなめし工場を中心に行っている福島化学工場の見学を2月8日(水)に実施することと進めています。詳細は次回の理事迄に決定いたします。是非ご参加ください。と説明し承認された。

五、年末年始の

スケジュールについて

12月の理事会(12・16)・催事広報委員会(12・5)・SF既得者勉強会(12・7)の予定が佐宗専務理事より説明された。

六、その他

栗原(茂)副会長より10月26日に神戸の春夏物展示会へ行ってきました。内容はあまり変化がなく来場者も少なかつた。来年度の景気も心配になる。

また、中堅大手のチェーン店の方々に話を聞くと、売り上げは非常に厳しく店舗の半数位が赤字に転落してしまったそうだ。10月の大手3社の実績も厳しい結果になっている。

アジアリングのセミナーでも、小売りの7割位が赤字経営に落ちているのではないかと、さらに在庫の評価を見るとさらに増えることになる。と言っていた。会場は満席で、今後の経営の取

り組み方に不安があるからではないのか。と感じた。

続いて矢代相談役より皮革産業連合会が作成した「レザーグッズのお手入れレッスン」の小冊子について有効に役立ててくださ。と説明があり配布された。

最後に田中事務局員より10月28日に東京皮革産業厚生年金基金の最終説明会があった。それによると解散時の負担金及び今後のスケジュールの説明があり、当初の負担金より9%ほど下がり478万円強となったと報告承認された。

東京都中小企業景況調査 {10月}

業況：模様眺め見通し
見通し：前月と同水準で推移

卸売業			業 況						
対象数		回答数	10 月			今後3か月間 見 通 し (当月比)			
875		340	38.9%			悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	100	-100	0	100	
衣料・身の回り品	1. 男 子 服								
	2. 婦 人・子 供 服								
	3. 靴 ・ 履 物								
	4. か ば ん ・ 袋 物								
	5. 装身具・身の回り品								

小売業			業 況						
対象数		回答数	10 月			今後3か月間 見 通 し (当月比)			
875		267	30.5%			悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	100	-100	0	100	
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具		○						
	2. 男 子 服								
	3. 婦 人 服								
	4. 子 供 服								
	5. 靴 ・ 履 物								
	6. か ば ん ・ 袋 物								
	7. 雑貨・身の回り品								
	8. 時 計 ・ 眼 鏡								
	9. ジュエリー製品								

景況についてのアンケート結果
(対象月…28年11月)

▶ 全体的な業況		
良い	0.0%	
悪い	83.3%	
変わらず	16.7%	
▶ 売上げ		
前月比	増えた	33.3%
	減った	50.0%
	同じ	16.7%
前年同月比	増えた	0.0%
	減った	66.7%
	同じ	33.3%
▶ 販売価格は前月比		
騰貴した	16.7%	
下落した	16.7%	
同じ	66.6%	
▶ 販売経費は前月比		
増えた	0.0%	
減った	33.3%	
同じ	33.7%	